

ルート3 視る

①高島



有名な観光スポットを中心に、心の扉を開いて「視る」旅を提案するルート。

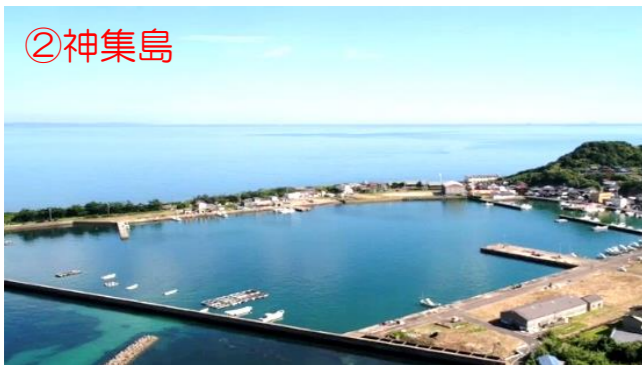
お参りすれば宝くじが当たる！と評判の①高島宝当神社、令和になって一躍「万葉の島」と評判の②神集島で何かを見つける旅を楽しみます。

唐津城の目の前に浮かぶ周囲3kmの小さな島・高島へは1日6往復の定期船のほかに乗り合い海上タクシーが随時運行されています。宝当神社で全国的に名を知られ、休日には多くの宝くじファンが訪れています。港から神社周りには、売店・食事処・カフェなどがあります。

神功皇后の新羅出兵に際して行われた儀式に、神々を集めたことに由来する神集島。湊港より1日9往復の定期船で10分の船旅です。

大和朝廷の使節団が島で詠んだとされる万葉の七歌碑を巡る「万葉ウォーク」に多くの歴史ファンが訪れます。神々が宿る「とやの原」には、歌碑、点在する野仏、北限とされる浜木綿の群生などに古の時がしのばれます。天然の港を造る砂嘴の先端には、海に立つ鳥居の住吉神社が海の安全を見守っています。神社裏手の海岸には、珍しいシャボテンの群生があります。石の上に落とすと石の方が割れてしまったと言われる「石割豆腐」が名物。

②神集島



松浦半島を囲む10の島 島めぐりおすすめコース



好みや季節に応じて組み合わせは自由にコーディネート。一つではない島々の魅力がきっと見つかります。あなたの島旅を「発見する」を楽しんで！

まつら半島を囲む10の島

- ①高島 「宝当の島」。宝当神社は、宝くじに御利益があるとして全国的に有名となった。
- ②神集島 「万葉の島」。万葉集との関わりが深く、7首の歌がこの島で詠んだとされる。
- ③小川島 「くじらの島」。江戸時代に捕鯨で栄えた島で、今も「鯨見張所」が残されている。
- ④加唐島 「武寧王と椿の島」。古代朝鮮の百済王・武寧王生誕の伝説が残る藪椿自生の島。
- ⑤松島 「ロザリオの島」。島民のほとんどがカトリック教徒の海士の島に若者がリターン。
- ⑥馬渡島 「大自然とふれあう島」。県内最大の離島で、野生のヤギも生息する自然豊かな島。
- ⑦向島 「海士漁とグルメの島」。海士の民宿グルメとプライベートビーチで自然満喫。
- ⑧加部島 「まつら佐用姫伝説の島」。佐用姫神社がある田島神社は県内で最も古い神社。
- ⑨鷹島 「元寇の島」。2度の元寇の海中遺跡の研究が進む。モンゴルとの友好も続く。
- ⑩福島 「椿の島」。春は桜、夏は海水浴、秋は棚田、冬は椿と四季を楽しめる。

ルート1 食べる

③小川島



イカを中心に、玄海灘の新鮮な魚介類を「食べる」をテーマに島めぐりを楽しむルート。

呼子を起点に、④小川島と⑧加部島のイカや獲れたての海の幸を堪能できます。

呼子港から小川島を目指します。港のそばには約100年も続いてきた日本三大朝市の一つである「呼子朝市」が行われています。およそ200mもある「朝市通り」には、毎日30～50軒の露店や店舗が並び賑わっています。

販売のおばちゃんとのやり取りでほっこりした後、船に乗り20分で捕鯨に沸いた島「小川島」へ。近年は捕鯨に変わりイカ漁が盛ん。民宿3軒、体験民宿1軒があり新鮮で美味しい海産物が頂けます。島にはレンタサイクルもあります。ゆっくり釣りを楽しんで一泊し、定期便で呼子港へ。

呼子港からは車で呼子大橋(727m)を渡り、ハマチの養殖とイカの水揚げといった漁業とともに農業も盛んな「加部島」へ。米、野菜、柑橘類の栽培のほか、島北端の杉の原牧場では肉牛の飼育がおこなわれています。特産品の甘夏で作る「甘夏ゼリー、クッキー、アイス」がおすすめです。イカ料理専門店もあります。美味しいイカの活きづくりが頂けます。

⑧加部島



ルート2 識る

⑥馬渡島



歴史を「識る」をテーマに、元寇から朝鮮出兵～隠れキリシタンなどの史跡をめぐるルート。

世界遺産に認定された隠れキリシタンとも深いかわりを持っている⑥馬渡島、2度の元寇襲来を受けた⑨鷹島の歴史を学ぶ旅を楽しみます。

名護屋城址の散策の後、名護屋港から30分馬渡島へ。馬渡島は、馬が島にたどり着いた場所、「名馬の鼻」があります。また「番所の辻」は、それぞれの時代に応じて、防衛、鯨見張り台や狼煙台となって、役目を果たしてきました。

島には「馬渡島カトリック教会」があります。長崎県西彼杵郡外海地方からの移住が最初の信者といわれています。今から160年も前のことです。現存する木造の教会は、移築前からここまで140年以上を経ています。民宿が3軒、1軒はカフェも営業しており、採れたての魚介類でもてなします。

第一回目の『文永の役』(745年前)は、総勢約900隻の船と4万人の元軍の船団が対馬、壱岐、鷹島を襲い、そして博多が戦いの場でした。第二回目の『弘安の役』(738年前)は、軍艦4,400隻、約14万人の兵で、東路軍と紅南軍の二手に分かれ博多を攻めたが、途中鷹島沖で停泊した所、暴風雨に合い大きな損害を受けて引き上げました。

⑨鷹島



ルート4 香る



花やアロマの香、忙しい現代人にとって、必要不可欠な「香り」、椿をメインに花旅を楽しむルート。椿の島、④加唐島と⑩福島を訪ねます。切木の牡丹、唐津城の桜やフジなど、季節ごとに花のかおりと潮の香の旅が楽しめます。呼子港から15分で加唐港に到着。日本書紀にも「椿の島」と記されるほど島中に防風林を兼ねて自生するヤブツバキがあります。ツバキの種子を搾油して化粧品原料として出荷されています。2月には椿の赤い花が斜面に咲き乱れます。畑に植えられたツバキが10月～12月には黄色い花を咲かせます。島最北端のカリオ岬にはユウスゲが群生し、7月にはカリオ灯台を囲むように黄色い花を咲かせ、秋になるとナンバンギセルがひっそりと咲きます。福島は、伊万里湾に浮かぶ小さな島ですが福島大橋が架橋されています。椿の群生があることで別名「椿の島」といわれています。平坦地が少ないため、棚田が多く、特に土谷(どや)地区の棚田は日本棚田百選にも選定されています。棚田と沖の飛島に沈む夕日が美しいと評判で、天気の良い日には多くのカメラマンが並びます。車エビの養殖場もあります。



まつら半島を囲む10の島 島めぐりマップ

七つの島商店 からつ七つの島

離島航路時刻表

西九州道唐津 IC から 20分

長崎道多久 IC から 50分

QRコードリーダーで読み取り、詳しい島の案内をご覧ください

からつ七つの島 <http://imagic.qee.jp/sima4/saga/kabesima.html>

加部島 https://www.city-matsuru.jp/top/kanko_bunka/kaikospot/2266.html

鷹島 https://www.city-matsuru.jp/top/kanko_bunka/kaikospot/2266.html

福島 https://www.city-matsuru.jp/top/kanko_bunka/kaikospot/2266.html

ゆめさが大学唐津校八期・実践課程やってみよう(地域活動体験)
 テーマ: 「まつら半島を囲む島々」の歴史や文化に触れて紹介マップを作成する
 メンバー: 山本 弘道、宮崎 真弓、執行 勉、井上 ミチノ、馬場崎 昇、丹野 孝子で担当
 協力: 唐津市、からつ七つの島活性化協議会、鷹島町歴史民俗資料館埋蔵・文化センター、松浦市立福島歴史民俗資料館、神集島万葉の会・高崎正幸代表、高島島おこしグループほか多くの島民の皆様ご協力有難うございました



ルート5 感じる



玄海灘の海と空、青色のみの景色が新鮮。潮風を「感じ」ながら島を歩いてめぐるルート。玄海灘に浮かぶ小さな島、⑤松島、⑦向島で、自然に親しみ、自分を見つめなおす島旅を通して、地球と宇宙のパワーを「感じる」旅を楽しみます。呼子港から15分。松島は、周囲わずか3.6kmのひょうたんのような形の小さな島。島民のほとんどがカトリック教徒。港のそばに小さくてかわいい「松島カトリック教会」があり、訪れる人を出迎えてくれます。岩盤が侵食してできた松島観音もある。島には Uターンで帰ってきた若者が営むレストランも人気です。また島で採れるミネラルたっぷりのアカモクも天然のワカメとともに評判も上々です。星賀港から鷹島肥前大橋を眺めながら10分で佐賀県の離島の中で最も面積が小さい向島へ。小学校のそばには子どもたちを愛した「松尾春子先生を慕う碑」があります。もとは別々にあったものを一か所に集められた恵比須像もあります。釣りやビーチでの海水浴を楽しみ、海士さんが営む民宿で採れたての魚介類での豪華な夕食が楽しめます。また素泊の民宿も1軒あります。せんだん茶や塩ワカメが人気商品となっています。

